

令和 7 (2025) 年 度
一般選抜後期日程 試験問題
人間健康科学部 看護学科

小論文

注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開かないでください。
- 2 解答はすべて解答用紙に記入してください。
- 3 解答には鉛筆かシャープペンシルを使用してください。
- 4 問題は全部で 4 ページ、解答用紙は全部で 2 枚あります。
- 5 試験時間は 90 分です。
- 6 試験終了後、問題冊子も回収します。
- 7 何か伝えたいことがあるときは挙手してください。

第1問 次の文章を読んで、設問1～2に答えなさい。

今日では、歴史上初めて、ほとんどの人が60歳を超えて生きられるようになっている。出産率の著しい低下と、このような平均余命の増加が同時に生じていることで、世界中での急激な人口高齢化が起きている。

長生きは、何事にも代えがたい価値である。長生きは、単に高齢がどのようなものになるかを見直すだけでなく、人生全体をどのように送るべきかを考え直すよいきっかけとなる。例えば、現在世界中の多くの地域では、ライフコースを、固定的な一連の段階という型にはまったものとして捉えている。ここでの段階とは、幼少期、学生時代、決まった期間の就労期、退職、という流れである。この観点からすると、単純に余りの数年が人生の終わりに追加され、それにより、退職後の生活が延長されることになる。しかし、より多くの人々が高齢者として生活するようになるにつれて、多くの人々が、人生に対するこの型にはまった考え方を見直していることが明らかとなった。こういった人々は、代わりに、追加の年数を他の形で過ごそうと考える。例えば、さらなる教育や新たなキャリア、長く無視してきた昔の夢を再び追い始める、などである。

しかし、寿命が延びたことによる機会の拡大は、1つの重要な要因に大きく依存している。その要因とは、健康である。人々がこういった追加の年数を良い健康状態で過ごせるならば、自分が重要だと思えることを実行する能力は、若い人の能力とほとんど変わらないだろう。しかし、その追加の年数が、肉体的・精神的能力の減退によって影響されるならば、高齢者や社会に対して大きくマイナスの影響が及ぶことになる。

高齢者人口の特徴は、非常に多様である。例えば、80歳の人の中には、多くの20歳の若者と匹敵するレベルの肉体的・精神的能力をもっている人もいる。できるだけ多くの人を、高齢化のこのようなプラスの軌道に乗せられるような形で、政策の枠組を作る必要がある。また、その政策は、高齢者の持続的な社会参加と社会貢献を阻むようなものであってはならない。しかし、多くの人々は、もっと若い時期に、能力の大幅な低下を経験する。例えば、60歳代で、基本動作でさえも他の人の助けが必要となる人もいる。高齢人口に対する包括的な公衆衛生^{※1}における対応は、こういった人々のニーズも解決するものでなくてはならない。

<中略>

高齢者が、変化する世界を乗り切り、新しく、より良く、より生産的な生き方を創り出すことを可能にするような、高齢者の能力強化に焦点をあてていく必要がある。これは、経済的効用のみに焦点をあてるのではなく、人々が理由をもって価値を見出している事物を獲得するためのチャンスを彼ら自身に与えることを目指している。

<中略>

加齢を構成し、加齢に影響を及ぼす変化は、複雑である。生物学のレベルでは、加齢は、広範かつ様々な形での分子・細胞に対する損傷の積み重ねと関係している。時間経過に伴い、この損傷によって、各個体の生理的予備力は徐々に低下し、多くの疾病リスクが増加し、内在的能力が徐々に低下する。そして最終的に死に至る。しかし、これらの変化は、直線的に生じるわけでも一貫して起きるわけでもなく、年を経るなかでの個人の年齢と、ゆるやかに関係しているのみなのである。

さらに、高齢者には、生物学的な衰えの他にも大きな変化を経験することが多い。例えば、役割や社会的地位が変化したり、近親者の死去に対応しなくてはならなくなったりする。この状況に応じて、高齢者は、より少数の、より有意義な目的や活動のみを選択するようになり、残った能力を訓練や新技術を通して最適化し、失った能力を補うような他の方法を見つけて、すべきことをするようになる。目的や、意欲のもととなる優先順位、嗜好などもまた、変化するように思われる。これらの変化の一部は喪失への適応によるものかもしれないが、その他の変化は、「新たな役割や視点、相互に関係のある多くの社会的背景」と関係すると考えられる高齢期の心理学的発達を反映している。これらの心理学的変化によって、多くの環境において、高齢期が、主観的に満足度の高い生活を経験する時期になりうる理由が説明できるかもしれない。

<中略>

60歳以降の障害と死亡の多くは、年齢に関連する能力の喪失に大きく起因する。例えば、聴力や視力、移動能力、非感染性疾患（心臓病、脳卒中、慢性呼吸疾患、癌、認知症など）である。

しかしながら、こういった健康状態からは、高齢者の生活に及ぼしている影響は何も分らない。例えば、重篤な聴力障害があるにも関わらず、補聴器を活用することで高レベルの機能を維持できているかもしれない。さらに、個々の状態による影響を別々に考えるのは、あまりに単純すぎる。2種類以上の慢性疾患を同時にもつリスクの増加とも、加齢は関連しているからである。複合疾患が身体機能や医療の利用や医療費に及ぼす影響は、こういった状態の個々の影響から想定されるよりも大幅に大きいことがしばしばある。

さらに、高齢期には、これまでの疾病の分類では把握しきれないような健康状態が生じる。これらの状態は慢性^{※2}の場合もあれば、急性^{※3}の場合もある。

高齢者が経験する、健康面や機能面の状態におけるこの複雑さを考えると、「高齢者の健康」とは何を意味するのか、どのように測定するのか、どうすれば促進できるのかといった、基本的な疑問が生じる。

（出典：世界保健機関報告書要旨 高齢化と健康に対するワールドレポート、2015年より引用、一部改変）

https://iris.who.int/bitstream/handle/10665/186468/WHO_FWC_ALC_15.01_jpn.pdf?sequence=5

(2024.10.10 access)

注) ※1 公衆衛生：疾病を予防し、寿命を延長し、身体的・精神的健康を保持・増進させるため、公私の保健機関や地域・職域組織によって営まれる組織的な衛生活動

※2 慢性：健康状態は比較的安定しているが、長期にわたってなかなか治らないような病気の性質

※3 急性：病気にかかって症状の進み方が速いという性質

設問1 「高齢者の健康」とは何を意味するのか本文の内容を用いて簡潔にまとめなさい。

設問2 高齢者が良い健康状態で過ごせるためには、どのような対策が必要だと考えるか、本文をふまえてあなたの考えを500字以内で述べなさい。

第2問 次の文章を読んで、設問1～3に答えなさい。

設問1 大人が一人の世帯と大人が二人以上の世帯に関する貧困率の年次推移の図を示す。図1より読み取れることを200字以内で述べなさい。

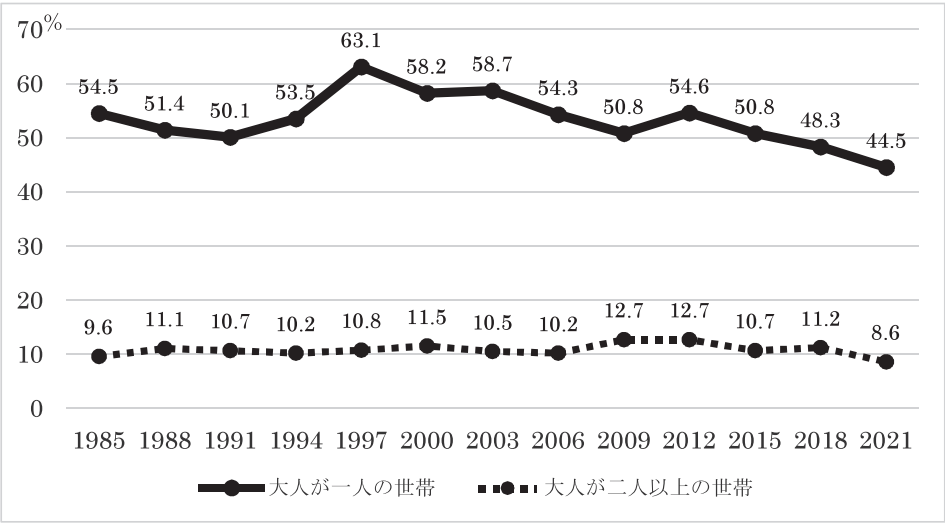


図1 貧困率の年次推移

出典：厚生労働省「2022（令和4）年 国民生活基礎調査の概要」をもとに作成

設問2 児童のいる世帯と母子世帯の所得の種類別1世帯当たりの平均所得金額に関する図を示す。表1から読み取れることを200字以内で述べなさい。

表1 各種世帯の所得の種類別1世帯当たり平均所得金額

1世帯当たり平均所得金額（単位：万円）

世帯の種類	総所得	稼働所得	財産所得	年金以外の 社会保障 給付金	その他の 所得
2021 年					
児童のいる世帯	785	721.7	11.6	19.1	32.6
母子世帯	328.2	270.6	0.1	40.9	16.6
2018 年					
児童のいる世帯	745.9	686.8	8.1	18.5	32.5
母子世帯	306	231.1	17.6	37.3	20

出典：厚生労働省「2022（令和4）年 国民生活基礎調査の概要」を一部抜粋

注）稼働所得：個人が働いて得る所得

財産所得：有価証券、土地、建物などの資産を所有、運用することから生じる所得

設問3 図1、表1をふまえて「子どもの貧困」を改善するために、どのような対策が必要だと思いますか。400字以内で述べなさい。